

地域	富山県砺波市	認定日	平成19年2月15日	4 - 18 - 048
事業分類	製造(窯業・土石)	テーマ分類	衣食住(住)、省エネルギー	

事業名: 多機能を有する樹脂合わせガラスの製造販売事業

事業概要(新規性、市場性等)

- ・無機系日射熱吸収剤を分散させたアクリル樹脂をガラスとポリカーボネートの間に注入し、重合硬化させた多機能樹脂合わせガラスを製造・販売する事業。
- ・新光硝子工業(株)と三井物産ソルベント・コーティング(株)・三井化学(株)が開発を進めてきた多機能性樹脂合わせガラスに、インターセプト(株)が独自開発した日射熱(赤外線)吸収剤を添加することで、断熱性(赤外線カット)、耐衝撃性、安全・防犯性、防音性、などガラスに要求されるほとんどの機能を高度に備えた製品が完成。透明度が高く、厚みを抑制できるため既存のサッシに適用が可能。
- ・それぞれの連携体企業が有する販路をもとに、大手ハウスメーカー、設計事務所、ゼネコンやリフォーム業者といった住宅関連をはじめ、車両関係等の事業分野への販売拡大を目指す。

事業推進体制

技術協力

富山県工業技術センター

技術支援

三井化学(株)

支援予定メニュー

補助金
低利融資(中小公庫)
設備投資減税

【製品の特長】

以下の項目について、高い性能を併せ持つ(=従来にはない多機能樹脂合わせガラス)

- ・断熱性 ・耐衝撃性
- ・防音性 ・防割性 ・防犯性
- ・遮熱 ・断熱性(赤外線カット)
- ・省エネルギー性

厚みが薄く既存サッシに組み込み可能で経済的(特殊なサッシは必要ない)

連携体の構成

製品開発、製造・販売

コア企業:新光硝子工業(株)
(富山県砺波市)

- ・樹脂合わせガラス製造に係る特許申請
- ・大手サッシメーカー等への販路

赤外線吸収剤の提供・販路開拓

インターセプト(株)
(岐阜県岐阜市)

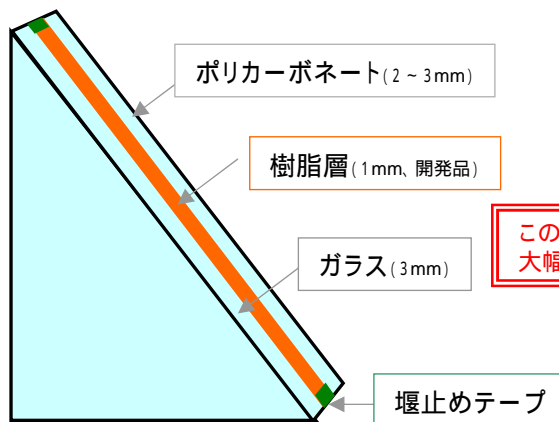
- ・透明な赤外線吸収剤に係る特許申請中
- ・大手ハウスメーカー等への販路

樹脂の提供・販売企画助言

三井物産ソルベント・コーティング(株)
(東京都中央区)

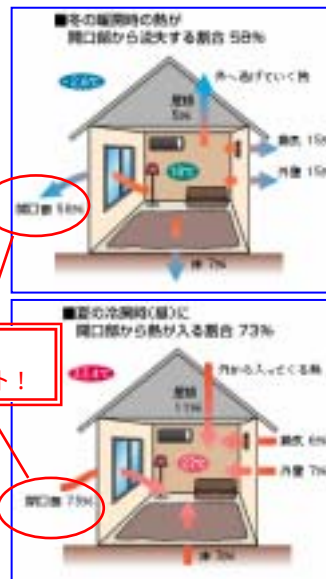
- ・樹脂の開発、提供
- ・技術情報の提供
- ・販売ノウハウ

総厚 6 ~ 7mmを実現!
(既存サッシへの対応可能)



樹脂合わせガラス断面(イメージ)

この熱を大幅にカット!



連携のきっかけ、特徴

- ・合わせガラスの高度な製造技術(異材合わせ、高意匠性、紫外線カット等)を持つコア企業、熱線吸収剤の特許を申請中(公開中)であり、独自の事業展開を図ってきた企業、さらに樹脂に関する情報と技術を提供する企業のそれぞれの固有経営資源が組み合わさって、実現した連携体。
- ・新光硝子工業(株)は、以前から樹脂による合わせガラスの研究に取り組む中で、樹脂材料と技術に係る情報・ノウハウを有する三井物産ソルベント・コーティング(株)との共同研究を進め、試行錯誤の結果、多機能を有するアクリル樹脂の開発に成功し、樹脂による合わせガラスが完成した。
- ・さらに、より高いレベルの日射熱の吸収と透明性の向上に必要な素材と技術の開発に臨んでいたところ、富山県工業技術センターより近赤外線吸収剤として優れた特性を持った材料・技術を保有するインターセプト(株)の紹介を受けたことで、従来の多機能ガラスにさらに高レベルの熱線吸収機能を付加した本製品が実現した。
- ・今回の製品の販売にあたっては、インターセプト(株)が有する大手ハウスメーカーの販路とともに、従来のガラス製造・販売で培った新光硝子工業(株)が有するサッシメーカー等への販路を活用し、住宅向けの資材として市場開拓を目指す計画である。

コア企業の会社概要

企業名・代表者	新光硝子工業株式会社 代表取締役 稲船 幸夫	
所在地	富山県砺波市太田1889-1	
創業	昭和28年8月	
資本金・従業員数	50,000千円	80人
業種	板ガラス加工業(二次加工)	
T E L	0763-33-1779	
F A X	0763-33-1796	
ホームページ	http://www.shinkoglass.co.jp/	
e - m a i l	honsha@shinkoglass.co.jp	

PR等その他の情報

- ・本開発品は赤外線のカット(熱さを軽減する)と、防割性(ポリカーボネート)を兼備した製品である。従来は、断熱の複層ガラス、防犯性の合わせガラスのいずれかを選択せざるを得なかった。
- ・また、防割性を求めるにはポリカーボネートが必要であるが、一般的に現状のフィルムではガラスとポリカは合わせることが困難な状況にある。しかし、当該アクリル樹脂は異なる素材を合わせることができる為、高い防割性を実現することができた。
- ・今回の開発品という断熱性とは、夏の熱さを軽減することに主眼を置いているが、コア企業では複層ガラスの加工技術も有しており、商品ラインナップには「合わせ・複層(断熱性をさらに強化)」も製造可能である。異材合わせが可能の為、製品の厚さも同等品よりも薄いのが特徴である。